

平成 23 年度教育振興運動推進状況調査・7 カ年の推移

『みんなで教振！10か年プロジェクト』 ～ 「運動の再点検と改善」に取り組む ～

(1) 再構築の3年

- 1年目 ⇒ H17
- 2年目 ⇒ H18
- 3年目 ⇒ H19

- ①組織のあり方を見直し、地域課題の掘り起こしに取り組む
- ②モデル・プログラムの作成による「取り組み方」の奨励
- ③教員の啓発（初任研・10年研の講義、窓口教員の研修参加）

(2) 実践の3年

- 4年目 ⇒ H20
- 5年目 ⇒ H21
- 6年目 ⇒ H22

- ①見直した組織で、新たに掘り起こした課題の解決に取り組む
- ②全県共通課題により、「取り組み方」を実践的に周知（PDCAサイクルと評価の数値化による成果の実感）
- ③メルマガによる情報提供とチーム教振による個別支援

(3) 定着と検証の2年

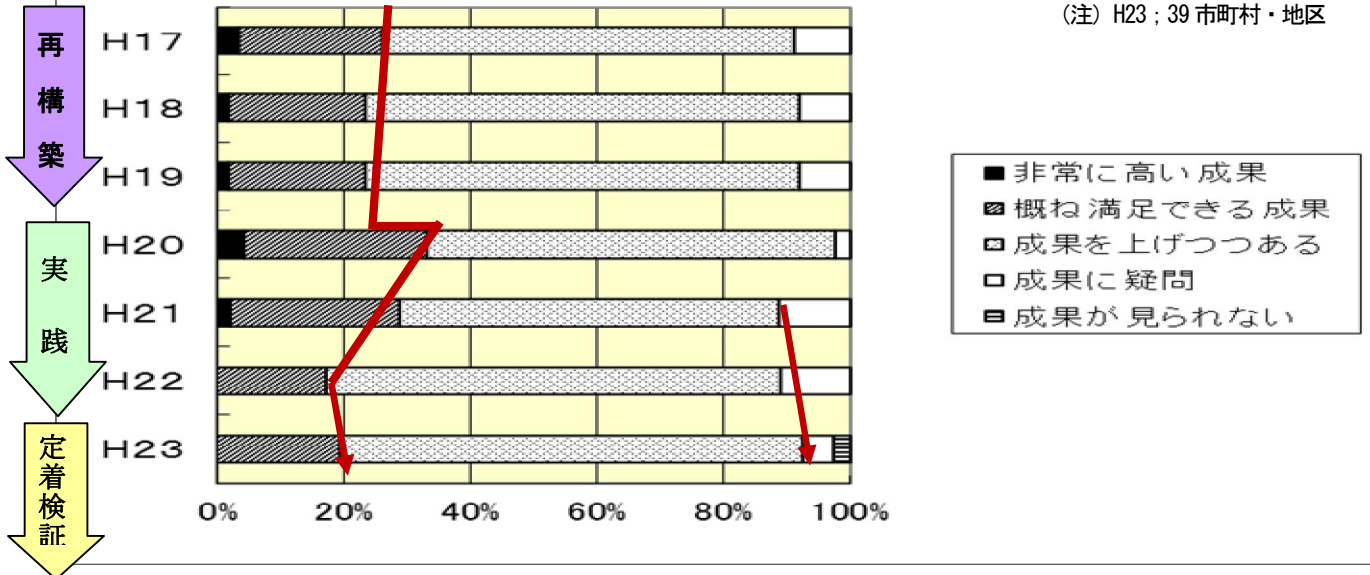
- 7年目 ⇒ H23

“再構築”と“実践”の定着を図り、6年間の取組の検証を行う

大震災後

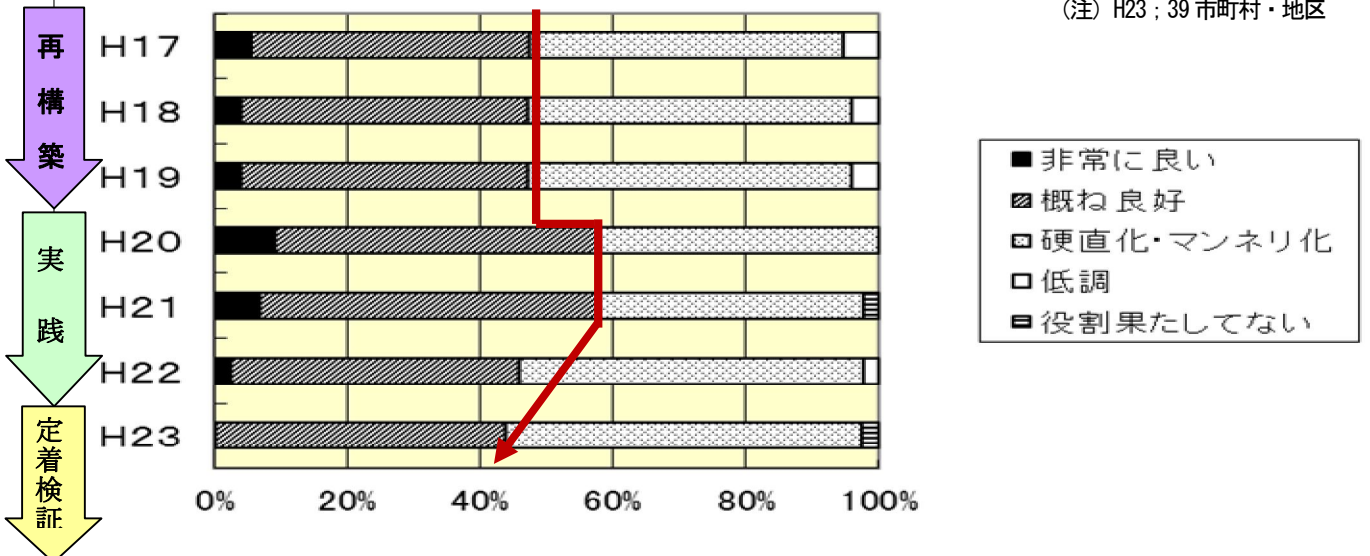
教育振興運動の成果(46市町村・地区)

(注) H23 ; 39市町村・地区



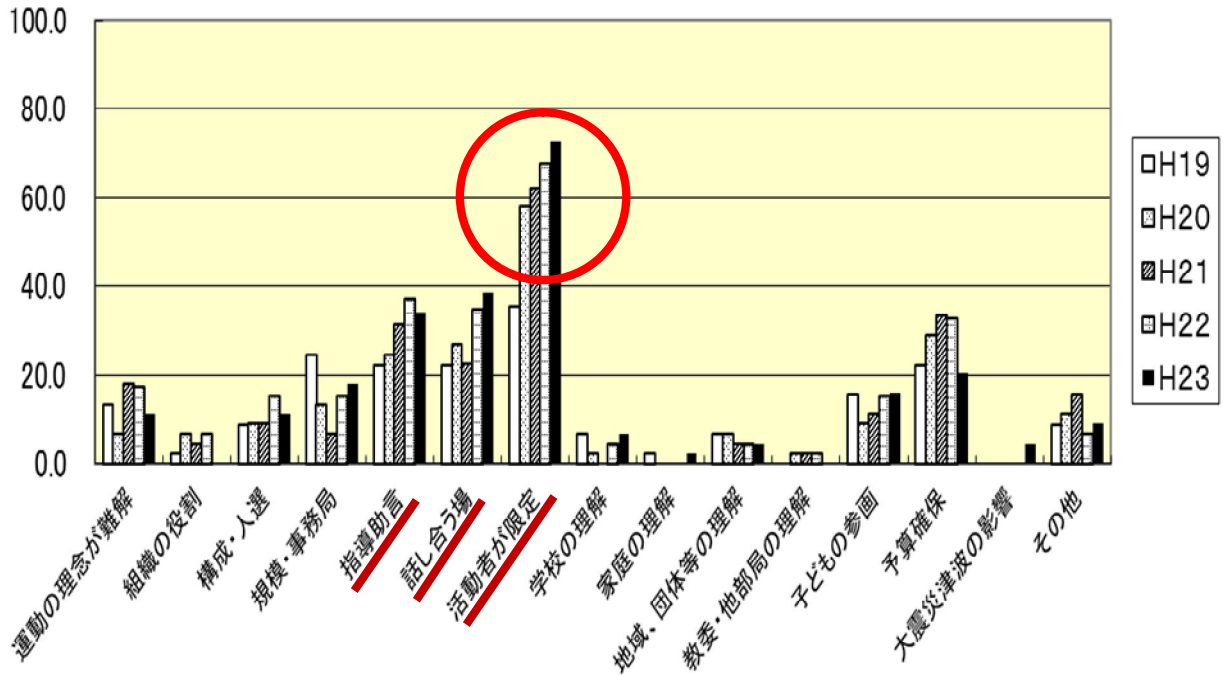
教育振興運動の評価(46市町村・地区)

(注) H23 ; 39市町村・地区



市町村における課題・悩み(46市町村・地区)

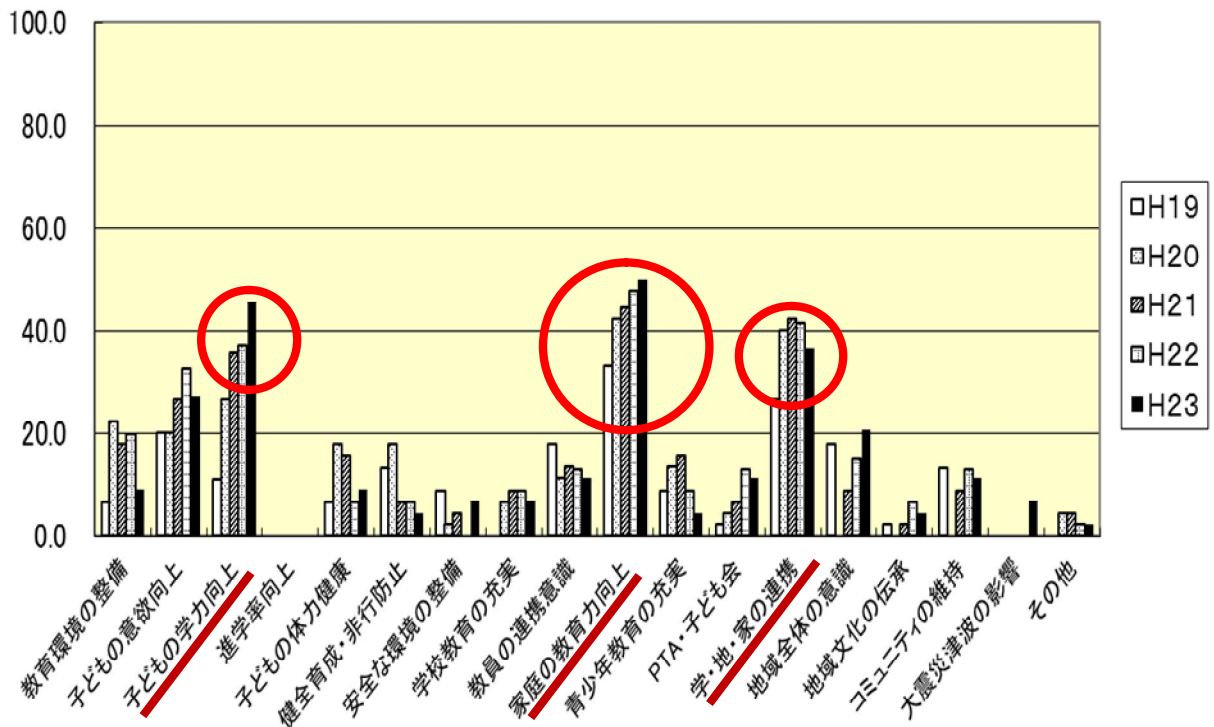
(注) H23 ; 42 市町村・地区



★ “話し合う”研修会を各市町村において開催し、**教育事務所社会教育主事等が教育振興運動の理念（地域の課題を解決する）・あり方（5者の責任で行う）**についての説明等を行うことで3つの課題の解決へ！

市町村の教育課題(46市町村・地区)

(注) H23 ; 42 市町村・地区



★ 地域・家庭と連携を図る学校経営（いわコミ）と全県共通課題（家庭学習・読書推進）が連携することにより、“親としてすべきこと”を明確にし、**親の教育力と子ども自身の学力の向上、活動者の拡大**を図る。

○各実践区における活動内容の推移

		再構築の3年			実践の3年			定着・検証・
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
自ら学ぶ力を育てる学習活動	読書活動	348⑤	365④	330⑤	371④	409④	410①	397①
	学力向上	195	137	146	126	237	362③	330②
	その他	72	70	59	71	55	44	52
社会参加活動	社会奉仕体験活動	139	340	255	265	299	242	240
	環境美化活動	514②	485②	420②	507②	427②	288⑤	<u>305④</u>
	その他	64	75	49	59	41	31	66
自然体験活動		333	298	166	171	182	155	159
郷土芸能伝承活動		274	261	223	254	258	225	199
文化・芸術活動		190	163	162	125	171	134	132
健康・安全推進活動	基本的な生活習慣づくり	462③	459③	392③	388③	424③	338④	<u>298⑤</u>
	食育推進活動	119	127	148	181	224	148	206
	その他	97	132	96	117	107	101	79
世代間交流・ふれあい交流活動		687①	509①	549①	574①	541①	364②	323③
勤労体験学習		328	185	332④	285	272	200	133
国際理解・協力		73	37	23	24	50	33	38
スポーツ・レクリエーション		460④	359⑤	315	341⑤	359⑤	270	231
その他		132	91	49	57	78	33	71
合計		4,667	4,093	3,714	3,916	4,134	3,378	3,259

○全県共通課題における取組状況の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
実践区における取組率	奨励開始	80%	100%	85%	90%	100%
(1) 家庭学習の充実	46.5%	74.0%	79.2%			
(2) 読書活動の推進	66.7%	83.8%	79.4%			

< H23 教育振興運動推進状況調査について >

東日本大震災津波の影響により、陸前高田市・釜石市が未回答、大船渡市・大槌町・宮古市田老地区・山田町が部分回答